



4月に実施された6年生の全国学力学習状況調査の結果を分析し、今後の子どもたちの学習指導に生かしていきます。また、前期【愛らぶ友】学校評価アンケートの結果についても教職員による校内研修や学校運営協議会等で協議を行いました。これらの結果や考察をもとに、日々の教育活動に生かしていきます。

愛らぶ国語科～目的意識・相手意識をもてる学習の充実～

【成果】

- 「知識及び技能」においては、比較的良好な傾向にある結果でした。特に、情報の扱い方に関する事項に関しては全国の平均正答率を上回っています。情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるようになっています。

【課題】

- 「思考力・判断力・表現力等」においては、全体的に課題が見られました。特に「書くこと」については、全国の平均正答率を大きく下回っています。図表やグラフなどを用いて、自分が伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。文章とグラフからわかったことを読み取り、指定された文字数で自分の考えを書くことが難しいと感じる児童が多いようです。文章とグラフのいずれかの情報しか取り上げていないため誤答となっている児童が半数以上いました。

【改善に向けて】

- ・ 成果で挙げている情報と情報の関連の仕方や語句と語句との関係の表し方を知識として理解させるだけでなく、目的意識や相手意識をもって表現する活動を充実させていきます。自分の意見を一方的に表現するのではなく、目的や相手に応じて、書き表し方を工夫できるよう単元を貫いた言語活動を重視していきます。

＞児童質問紙における質問項目

「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか」における児童の回答状況

当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
33.9	44.4	17.3	4.2

- ・ 複数の情報を整理する力をつけるには、話や文章の中心となる語や文を捉えることが大切です。そのために、段落ごとに話や文章を読み進めるのではなく、「全体から読む」という指導を充実させていきます。

愛らぶ算数科～問題解決の過程を学ぶ～

【成果】

- 全国の平均正答率と比較すると、良好な結果でした。特に、「数と計算」「データの活用」領域に関しては、全国の平均正答率を約5%上回っています。四則混合した式を場面と関連付けて読み取ることや、示された表から必要な数を読み取ることができるようになっています。

【課題】

- 「図形」においては、全国の平均回答率を上回っているものの図形を構成する要素などに着目して、図形の性質や計量について考察することに課題が見られました。具体的な数値が示されていない図形について、その面積の大小を判断するのに必要な情報を見出し、理由を考えることが難しいと感じる子どもが多いようです。「三角形の底辺や高さ」「平行」「垂直」といった図形用語の意味や性質を理解して、面積を求めることができると理解しきれない児童が半数近くいました。

【改善に向けて】

- ・ 場面を解釈して、必要な情報を見出し、問題の解決方法や式や言葉を用いて説明できるような学習指導を充実させていきます。図形に限らず、計算のきまりや公式を「覚える」で終わってしまっている児童が多いようです。具体的な数値や式が表していることはどのようなことなのかを理解できるように、問題文と図と式のつながりをもたせることができるような授業展開をコーディネートしていきます。

＞学校評価アンケートにおける質問項目

「算数科において、複数指導や習熟度別学習で子どもに合った学びを指導できていますか。」における教職員の回答状況

そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
19%	62%	13%	6%

- ・ 知識や技能を身につけるだけでなく、問題解決の過程や結果をふり返ることができる力が大切です。そのために、日常生活で学んだことに必要性や確実性を感じることができるような働きかけを充実させていきます。

愛らぶ児童質問紙～安全・安心な風土の醸成～

今日子どもたちを取り巻く環境は、多様化・重層化・不視化により複雑なものへとなってきています。そこで、学校という小さな社会で過ごす子どもたちが断じて許してはいけないのが「いじめ」です。

「いじめ」に関する項目を取り上げると次のような課題が考察できます。

- ・ 「いじめ」についての法の理解と社会通念上の理解にギャップがある。
- ・ 相談しにくい環境にある。
- ・ 自ら友人関係を進んで築いていく社会的スキルが十分でない。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（%）

当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
82.9	14.2	2.2	0.7

人が困っているときは、進んで助けていますか（%）

当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
42.4	49.1	7.4	1

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか（%）

当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
29.6	36.7	23.6	9.9

令和5年度前期【愛らぶ友】学校評価アンケート結果

○目指す子ども像（洛西中学校ブロック） 『夢の実現に向けて、共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成』
 重点目標（児童生徒の共通する課題より） (1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動”を充実する～つながる・深める・伝え合う～
 (2) 児童生徒が主体的に活躍できる場を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。
 ○境谷小学校めざす子ども像 『素直な心で 人とつながり より良い未来を切り拓く 境谷の子』 ～自愛と友愛に満ちた子の育成～
 1. 粘り強く挑戦する子 2. 自分も友だちも大切にする子 3. いのち・健康を守る子

質問項目	児童				保護者・学校運営協議会				そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		分からない	
	児童		保護者・学校運営協議会		児童		保護者・学校運営協議会		児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人
	① 学校の勉強はわかりますか。	51	41	20	66	51	20	41	66	7	10	2	0	0	3			
② 自分の意見や考えを話すことができているか。	36	50	12	63	36	12	50	63	12	18	2	2	0	4				
③ 人の意見や考えをしっかりと聞き取ることができているか。	56	38	12	65	56	12	38	65	6	18	0	1	0	3				
④ 進んで本を読むことができているか。	50	25	13	30	50	13	25	30	16	30	8	21	0	4				
⑤ 毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができているか。	36	44	15	48	36	15	44	48	16	27	3	7	0	3				
⑥ 毎日、家庭学習をすることができているか。	45	35	25	44	45	25	35	44	14	27	6	0	0	4				
⑦ 授業や学校生活の中でがんばったことを、先生はほめてくれますか。 (児童のみ)	45	41	0		45	0	41		8	5	0	0						
⑧ 学校に楽しくかよえることができているか。	55	29	37	54	55	37	29	54	10	6	7	2	0	1				
⑨ 学校では、先生や友だちから大切にされていると思いますか。	48	39	26	63	48	26	39	63	11	1	1	1	0	9				
⑩ 地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができていますか。	50	38	27	42	50	27	38	42	9	27	3	1	0	3				
⑪ 早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか。	46	35	35	52	46	35	35	52	14	9	5	1	0	3				
⑫ 自分にはよいところがあると思いますか。	44	30		82	44		30	82	18	0	8	0	0	0				
⑬ 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか。	42	40	11	60	42	11	40	60	15	22	3	3	0	3				
⑭ 学校のきまりや約束を守ることができていますか。	34	57	30	62	34	30	57	62	7	7	2	1	0	0				
⑮ 自分から進んでそうじや係活動ができていますか (高：掃除や係活動、委員会活動ができていますか)	61	30	17	52	61	17	30	52	7	26	2	5	0	0				
⑯ 学校からのおたよりをお家の人に見せていますか。	52	33	18	64	52	18	33	64	11	6	5	7	0	6				
⑰ わからないことや、困っていることを先生に相談することができていますか。	33	38	19	56	33	19	38	56	21	13	8	5	0	8				
⑱ お家の人に、学校でのできごとを話していますか。	47	31	36	51	47	36	31	51	16	9	6	1	0	2				
⑲ お家の人や地域の人からほめられることがありますか。	48	36	34	52	48	34	36	52	11	11	5	0	0	2				
⑳ 地域の人との交流 (おはなし会・少年補導の行事) やゲストティーチャーとの交流、PTA行事を楽しみにしていますか。	42	31	3	50	42	3	31	50	20	30	7	3	0	14				

※単位は%

確かな学力 ～系統性のある学習と継続的な家庭学習～

「確かな学力」を子どもたちがよりよく身に付けることができるようにするため、次のような取組を進めていきます。

①今年度も教科担任制による専門性を活かした授業、算数での習熟度別や複数指導体制における、一人一人に寄り添った授業などに取り組んでいます。また、子どもたちの多様な考え、表現を大切に、それらをもとに授業を構築しています。そのことにより、子どもたちがより問いに向き合い、学びを深める姿が見られるなどの成果が出ていると考えています。

②③他学年との学習したことの伝え合いなど、交流を通して目的に合った話し方や聞き方を体験できる学習の場を意図的に取り入れるなどして、話す、聞く力をさらに伸ばしていきたいと思っています。

④学校では朝読書の時間や読書週間の設定、休み時間の図書館開放など、子どもたちが読書に親しめるように取り組んでいます。家庭においても読書ができるように、親子読書や読書週間での読書などを、家庭学習に取り入れていくことも考えていきます。

⑤ご家庭との連携が不可欠です。学習予定表等を持ち物を伝えておりますので、しっかりと準備できるよう、ご協力をお願いします。

⑥本校では、学年間の系統性がある家庭学習の設定をしており、引き続き児童の学力実態に合った学習内容に取り組めるようにしていきます。ご家庭でもお子さんがどのように学習に取り組んでいるのかを少しでも見ていただく時間を作っていたら、励みになることと思います。

⑦子どもにとって一番近い大人のモデルである教職員が相手意識や目的意識をもった言葉遣いや姿勢を意識していくことが必要ではないかと考えています。そのような姿勢で、子どもたちを褒め、認めていくことで、自己肯定感をより高めていきます。

豊かな心・健やかな体 ～子ども同士の関わりに目を向けることの大切さ～

子どもたち一人一人を徹底的に愛することを教育理念とし、学校教育目標の副題に「自愛と友愛に満ちた子の育成」を掲げています。愛にあふれた境谷小学校の実現に向けて努めてまいります。

⑧昨年度から引き続き、さまざまな立場の教職員が子どもたちに積極的に関わり、寄り添ってきました。子どもたち同士がお互いのことを大切にできるように、子どもたちの関わり方に目を向けてきました。そうして一人一人の子どもを大切にできたことが、安心して学校に通うことにつながっていると考えており、これからも関わりを深めていきます。

⑨⑩⑪高学年になるにつれて、学習内容がより高度になり、学習でのつまづきから自己肯定感を下げている面もあると思われます。やはり、確かな学力を身に付けられるようにすることで自己肯定感を高められると考え、とくに基礎学力を上げることを大切にしていきます。また、他者との比較をしてしまうことや、恥ずかしさなどから率先して取り組みにくくなるようなこともあると思います。学習や生活の場面において、「ほめるの三重サイクル」を意識して、褒める要素を探し、褒める続けることに取り組んでいます。

⑩今年度、新たな取組として高学年や児童会によるあいさつ運動を行っています。あいさつにおいては、高学年が手本を示すことで活性化されるという効果が見られました。

⑬⑭⑮きまりや約束を守るといった規範意識の高さ、自ら進んで友だちや学校のために行動しようという姿が、日々の学校生活においてたくさん見られます。その言動をすることで、どうなるのか、周りの人がどう思うのかを考えることを大切にしており、めざす子ども像にもあるように、「自分も友だちも大切にする子」に育てほしいと願っています。

学校・家庭・地域の連携 ～子ども・家庭と向き合うコミュニケーション～

子どもたちを学校・家庭・地域が連携して育てるという考えのもと、これからも協働的な取組の構築を進めていきたいと思っています。

⑯⑰おたよりは、取組の様子や持ち物のお知らせ、担任の願いなどが込められた学校と家庭をつなぐ大切なものです。また、学校ホームページにおいても情報を発信しております。ホームページでは取組の報告だけに終わらず、ねらいを明確にし、子どもたちがどのように変容してきたのかを伝えるようにしていこうと考えています。おたよりやホームページが、お子さんと保護者の方をつなぐコミュニケーションツールとなるように、より分かりやすく、より充実させていきたいと思っています。

⑱子どもたちは成長の過程でさまざまな悩みや困りを抱えるようになっていきます。そのような悩みや困りを気づいたり、いつでも相談に乗れたりする教職員集団でありたいと思っています。教科担任制や複数指導体制、マネージャー制度などにより、どの教職員でも子どもたちに関われる体制を築いています。日々の子どもの様子にこれからも真摯に向き合っていきたいと思っています。

⑳子どもたちに自分たちのまち境谷、洛西を愛する気持ちを育みたいということで、「地愛」をテーマに本校では総合的な学習の時間のカリキュラムの見直しを行いました。地域の施設を訪れ人とふれあったり、ものに触れる体験活動を行ったりしました。また、生活科の学習では、地域の料理作りや野菜作りの名人の方をゲストティーチャーとしてお迎えし、教えていただきました。積極的に地域の方と学習を重ねる中で、人と人のつながりの大切さや、地域のよさに子どもたちは気づくことができ、自らの考えを深めることができました。このような交流を通して、探究的な活動の面白さを子どもたちが実感することができ、それを楽しみにする姿が多く見られました。